

Simpson Reef Brochure

Translated by:

Tomoya Ishizuka

Southern Oregon University

ハイクジラ

GRAY WHALE

シンプソンリーフ沖では、クジラが潮を吹きながら泳いでいる様子を見かけることがあります。オレゴンコーストの近くに来る大型のクジラのほとんどはハイクジラで、大人になると全長約12メートルまでに成長します。冬になるとこれらメスのハイクジラは、カリフォルニアのバハ環礁で出産し、子育てを始めます。

3月から6月にかけてはアラゴ岬の近くを子育てのため、アラスカに向かって泳いでいく親子の姿を見ることができます。このうちの何頭かの若いハイクジラは、オレゴンコースト近海にとどまり子育てをするのを好むので、シンプソンリーフ沖ではその様子を観察することができます。

また、12月から2月にかけては、これらのハイクジラがカリフォルニアのバハ環礁に戻って来る様子を楽しむこともできます。

親のハイクジラは子供にエサを与えるために、バリーンと呼ばれる特殊な器官を使用します。このバリーンは口内の上部につながっており、海底からすくい上げた沈殿物をこしてエサを採集するのに適した形をしています。

双眼鏡でハイクジラを観察すると、彼らの肌がたいへんごつごつしていることに気付くでしょう。これは直径約6センチにもなるふじつぼという貝が寄生しているためで、遠くからではクジラ自体に斑点模様があるように錯覚してしまうかもしれません。

親クジラは体長約12メートル、体重約45トン

子クジラは体長約5メートル、体重約1トン

カリフォルニアアシカ

CALIFORNIA

SEA LION

名前のおり、この種類のアシカはカリフォルニアで出産し一生を過ごします。しかしながら、子育ての最終時期になるとオスのカリフォルニアアシカは、群れを離れて北部へ移住してきます。このうちの何頭かはアラゴ岬に8

月の初めにやってきますが、多くはブリティッシュコロンビアに向けて北上を続けていきます。メスは子供と一緒に安全で住みやすいカリフォルニアにとどまります。毎年1500頭から2000頭のアシカがアラゴ岬で夏の終わりと秋を過ごします。何頭かは冬まですりませんが、春になるとカリフォルニアに向かって南下してきます。

カリフォルニアアシカの乾いた肌はチョコレート色で、年配のオスには日焼けしたこぶが頭部にあります。このこぶ状の骨は歳をかさねるにつれて大きくなります。シェルアイランドではカリフォルニアアシカがステラーアシカと一緒にいる様子をしばしば見かけます。最盛期の秋にはアラゴ岬のすべての岩の上に、アシカが休んでいる姿を見かけることもあるほどです。他の種類のアシカはあまり鳴きませんが、カリフォルニアアシカはたいへん大きな声でよく鳴きます。

オスアシカは体重約230 - 340キログラム、体長2.4メートル

メスアシカは体重約90 - 180キログラム、体長1.8メートル

子アシカは出産時体重16キログラム

ステラーアシカ

STELLER

SEA LION

ノーザンアシカとも呼ばれアシカの種の中で最も大きいのが特徴です。ステラーアシカはオレゴンで子育てをしますが、アラゴ岬付近ではしていません。ステラーアシカはシンプソンリーフの北側の岩場とシェルアイランド付近の岩場でしばしば見かけます。乾いた肌は明るい茶色で、他のアシカの種類と同様に、オスはメスよりも3倍から4倍大きいです。

オスアシカは体重約1トン、体長約3メートル

メスアシカは体重約270キログラム、体長2.1メートル

子アシカは体重約18キログラム、6、7月が出産時で体は銀色

クロカキクイトリ BLACK OYSTER CATCHER

アラゴ岬付近では年間を通じて、クロカキクイトリを観察することができます。この海鳥の赤いくちばしはとてもきれいなだけでなく、干潟に生息するかきなどの固い貝を割るのに適した形をしています。シェルアイランドの上空を飛んでいく海鳥の中でも、クロカキクイトリの鳴き声はとてかん高いので、すぐにそれとわかるでしょう。

ノーザンゾウアザラシ NORTHERN ELEPHANT SEAL

アラゴ岬では最盛期の春だけ出なく、年間を通じてノーザンゾウアザラシを見ることができます。これらはひとつの場所にとどまらず、シェルアイランドにある、小さな砂浜で休んだり、周囲の岩場に集まったりするので、観察者が総数を確認する際には時々苦労します。

この群れはサンフランシスコとモントレイの間のアニョヌエボという場所で生まれた1歳から

4歳のノーザンゾウアザラシが中心でできています。この群れがアラゴ岬に住み着いている理由は、この岩場が休むのに恰好の場所というだけでなく、3週間ほどかかる体毛と皮膚の生え変わりを迎えるのに都合がよいのではと考えられています。ノーザンゾウアザラシはこの3週間の期間を絶食して過ごします。

驚くべきことに、アザラシ種の中でも最も潜水能力のあるものは、1200メートルも潜ったという記録があります。主食はメルルーサ、小型のサメ、エイ、ラットフィッシュ、深海に住むイカなどです。

オスゾウアザラシは体重約 2.5 トン、体長約 4.5 メートルまで成長

メスゾウアザラシは体重約 0.5 トン、体長 3 メートルまで成長

子供は体重約 35 キログラム、1 月から 2 月が出産時で体は黒色

オオアオサギ GREAT BLUE HERON

アラゴ岬の干潟ではオオアオサギが子育てをしている様子を

観察することができます。この大型の青い鳥は翼を広げると、左右 1.8メートルにもなり、とても堂々としていて気品のあることで知られています。また、オオアオサギは高い木の上に巣を作ります。

ハーバーアザラシ HARBOR SEAL

シンプソンリーフの外側とシェルアイランド付近では年間を通じてハーバーアザラシを見ることができます。体の色は明るいものから灰色のものまで様々で、しみがあるものもいます。

春にはアラゴ岬付近で子供を出産します。身ごもったメスのハーバーアザラシは出産に備えるため、アラゴ岬から 4 マイル南に位置したノースコープで過ごします。クースベイ市が 3 月の初めから 6 月の終わりまで、ノースコープへの道を通行禁止にする理由は、このメスハーバーアザラシの出産過程を保護するためです。

ハーバーアザラシの子供は生まれてからすぐに泳ぐことができます。母親は 3 週間ほど育児をしますが、乳離れのあとは小さい子供の面倒を見ません。主食は

アラゴ岬近海に住む色々な種類の魚です。

大人のハーバーアザラシは体重約 110 - 180 キログラム、体長は約 1.5 メートル

子供のハーバーアザラシは体重約 68 - 90 キログラム、4 月と 5 月が出産時期

ベラジックウミウ PELAGIC CORMORANT

ベラジックウミウは黒い羽の上に白い斑点があります。この鳥はシェルアイランドの崖の上に巣を作って、6 月には二、三羽のヒナを育てます。ヒナは母親ののどの中に頭とくちばしを差し込んでえさをもらいます。ひなは母親ののどの頭とくちばしをさしこんでエサをもらいます。双眼鏡で観察してみてください。

インターナショナルコピーライト 石塚とも

Brochure Produced by
Shoreline Education for
Awareness
P.O. Box 957
Bandon OR 97411
541-347-3683